

多文化ヒューマンライブラリー

会場：「三茶しゃれなあとホール」5F

ブックリスト (ダイジェスト版)

2019年11月30日(土)受付 13:40-16:30

世田谷区太子堂2-16-7 「三軒茶屋」 駅徒歩1分

記号	本の名前	顔写真	カテゴリー	タイトル	あらすじ
A	ミルトンさん		難民申請者(仮放免中)	難民申請 11年目ーコロナ肺炎出身の私の話	24年前に来日。2008年10月超過滞在者として入管に収容。暗殺団に襲われる危険のため「帰国を拒否」し難民申請。その後、長期収容と再収容を繰り返し、未だに申請は認められていません。
B	ルリカさん		ミャンマー出身の日本人	ロヒンギャ族の女性として	私は、ミャンマー生まれのロヒンギャ族です。今日は私がミャンマーで実際に受けた差別、迫害。また日本国籍に帰化した理由、日本国籍になって得たことを話します。
C	ナディさん		イラン系日本人	6歳で来日したイラン出身の私の物語	1984年イラン生まれ。4歳まで戦争が続いた6歳の時家族で来日。3年間学校に通えず、その後超過滞在のまま小学校入学。高校在学中に在留特別許可取得。大学卒業後、企業に就職し現在は二児の母。
D	レクナさん		カンボジア人留学生	カンボジアの孤児院で育った私が今日本にいる理由	両親の離婚で孤児院で小中高と育つ。高校2年の時に日本語スピーチコンテストで見事優勝。現在は日本の大学に通いながらも障害者施設で働いています。日本に来ての困難と、日本の素晴らしさを語ります。
E	イネスさん		ボスニア人留学生	3つの民族、3つの言語、3つの宗教に生きる	独立してから25年弱、近代史の新しい国とされるが、9世紀から存在していた国家ボスニア。戦争中に生まれた私がボスニアの過去・現在・未来、または複数民族・言語・宗教の中生きる問題について話します。
F	エミさん		在日ペルー人学生	who are you?	両親は日本とペルーのハーフ。私もペルー国籍ですが、生まれも育ちも日本です。なので、日本では外国人として対応されます。その中で苦労したことや悩んだことを語ります。日本にいる外国人の人の知ってもらいたい。
G	ヌールとハラさん		シリア人留学生姉妹	試練に思われて	私たちはシリア人、シリアの戦争前後の話、イスラム教の話をシリア人女性の視点から話をします。アラビア語、日本語や日本文化の経験も少し語りたいと思います。
H	鄭柚奈さん		在日朝鮮人	在日朝鮮人として生きること	在日朝鮮人4世の私。高校まで朝鮮学校に通い、「民族教育」を受け育つ。幼少期からヘイトスピーチやデモなどを目の当たりにしたことをきっかけに、在日外国人への差別問題や権利について学びその克服を決意する。
I	吉田さん		国際 NGO 団体の職員	スラムのことを知ってほしいーバンコクでの8年間	大学時代に訪問したバンコクのスラム、子どもが遊ぶ傍に麻薬の注射器が落ちていた。その衝撃が国際ボランティアを志した原点で、今は NGO で働いています。途上国の子どもの教育支援に携わりました。スラムや子どもたちのことをみんなに知って頂きたいです。
J	中林さん		豪州・英国など複数国への留学経験者	16歳、初めての海外：8か月オーストラリア留学	刺激を求めて高校2年生の5月に豪州へ留学。特別英語ができるわけでもなかった私。予想通り色々な困難にぶち当たる。ホストファミリー、英語、バスの乗り方、現地での勉強や慣習。しかし、それらは私の求めていた刺激でした。
K	福嶋さん		元青年海外協力隊隊員	初めての海外がアフリカ・ケニアの2年間	県外にも住んだこともなかった私が、青年海外協力隊に参加した。ケニアの田舎での暮らしと活動での出会いや葛藤、失敗、発見、喜びと後悔の数々…。今も昔も国際協力のスペシャリストではない私を感じた異文化体験を語ります。

【事前予約の生徒・学生の皆さんへ】 tabunkahl@gmail.com に事前予約をお願いします。

一般の方は、当日に自由参加できます。(なお、中学生の方は学校経由でお申し込みください。)

⇒生徒・学生の方は、「多文化HL参加希望」と書き「氏名」「学校名・学年」「希望本の記号」(2つまで)「電話番号」「メールアドレス」を明記してメールでお申し込みください。なお、同じ本に希望者が集中した場合は先着順に決定し、当方で変更する場合があります。ご了承ください。

ご希望本との対話の可否及び対話時間は、後日、主催者からお知らせします。